



の園だより



令和7年12月1日
目黒区立菅刈保育園園長

街の木々や風景がすっかり冬支度に入りました。陽だまりの暖かさが心地良く感じられます。

園庭では今でも裸足で元気に遊ぶ子どもたちがいて、見ている私自身も元気パワーのおすそわけを毎日たくさんもらっています。先日、1歳児クラスの子が園庭にあるスカイジムのはしごを勢いよく上っていました。そばで見ている保育士はハラハラしながら見守っています。あと少しで一番上に到達するところまで行くと、満足したようで、今度は少しゆっくりと下りてきました。「上れたね」と声をかけると嬉しそうな笑顔を見せてくれました。今までは幼児クラスの子どもたちが上り下りしているのをじっと見ているだけだったので、自分でできた喜びはひとしおだったことでしょう。そんな姿を見ていると、私も嬉しくなり心がほっこりします。“見守る”姿勢にはエネルギーと根気と覚悟が必要です。子どもなりに「できるかな。ちょっと怖いけれどやってみよう」と勇気を出して、少し高い目標を目指すとき「大丈夫だよ。見ているからね」と後押ししながら成長を手助けし、子ども自身の生きる力を伸ばしてあげたいと思います。

あとひと月で今年も終わります。今年も園運営にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

年の瀬が近づくにつれ気忙しさも増し、本来の見えるものも少なくなります。“忙しい”という字は“心が亡ぶ”と書きます。「～しなさい」「早くして」「なんで…」と指示や否定の言葉かけになりがちですが、人に伝えるときの言葉の選び方で、相手の理解は大きく違ってきます。そんなときは大きく深呼吸をして心を落ち着かせ、まずは自分自身と、そして子どもや家族、周囲の人と向き合っていきたいと思います。

今月の予定

- 冬の子ども会【3・4・5歳児クラス】
- 身体測定
- 避難訓練

29日(月)から1月3日(土)まで
保育園はお休みです。



菅刈の自然

～身近な生き物と子どもたち～

オオカマキリ



ナナホシテントウ



ヤマトシジミ

子どもたちの周囲には自然がいっぱい！
季節によっていろいろな虫を探して触れる
ことを楽しんでいます。



0・2・4歳児クラスの公園遊びの様子を紹介します。



落ち葉を両手いっぱいに拾い集めて保育士を追いかけている子どもたち。「おにはーそとー」と、まるで豆まきのようです。友達の楽しそうな声を聞いて「やりたい」と次々に集まり、いつの間にか保育士と子どもたちとで掛け合いかっこが始まりました。秋の自然に触れて、体を動かして遊ぶことを楽しんでいます。

菅刈公園の広場で赤い実を見つけた子どもたち。1つ拾っては、保育士や友達に見せてくれます。保育士が「赤いのがあったね」と声を掛けると「あー」「たー」と伝えてくれます。摘まんで木の実が潰れてしまうと、不思議そうな表情で保育士に見せてくれました。子どもたちが見たもの触れたものを一緒に見て、身近なものへの興味関心が広がるようにしていきます。

【ひまわり組】

2歳児クラス
西郷山公園



【うさぎ組】
4歳児クラス
鉢山公園



鉢山公園の螺旋状の滑り台では「みんなで繋がって滑ろう」と声を掛け合い、次々と前の子のお腹にしがみつきながら長い列になって滑ることを楽しんでいます。準備のできた子は後ろの様子が気になり、そわそわしながらも列ができると「せーの」の掛け声で一斉に滑り、笑い声が響きます。友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる中で、仲間意識が育っています。